

## 「日本脊椎関節炎学会学会誌」投稿規程

学会誌「日本脊椎関節炎学会学会誌」への投稿について、日本脊椎関節炎学会学会誌学会発行規定に基づき、次のとおり定める。

### 1. 編集方針

日本脊椎関節炎学会学会誌(The Japanese Journal of Spondyloarthritis)は日本脊椎関節炎学会の機関誌として、脊椎関節炎およびそれと深い関連を有する事項に関する基礎的および臨床的研究を発表する。

### 2. 投稿資格と条件

投稿論文は、他誌に発表されていないものとし、本会員はすべて本会誌に投稿することができる。

### 3. 論文の種類

原著、速報、症例報告、Letters to the Editor、綜説、集会、会報および雑報などとする。また、編集委員会は本学会の目的に添う原稿を依頼することができる。

### 4. 論文の採否

論文の採否は複数レフェリーの意見を参考にし、編集委員会において決定する。

### 5. 原著:

(a) 基礎的或いは臨床的研究に基づく新知見であり、独創的にして未発表のものでなければならない。

(b) 原稿は原則として本文(引用文献を含む)12000字以内とし、表、図(写真)は総計15枚以内とする。

(c) 原稿で同じ著者らによる同じ分野をテーマとするものは、原則として同一号に1編を掲載する。

### 6. 速報:

独創に満ちた研究業績でそのプライオリティを確保するために速く公表する必要がある場合、この速報欄に投稿することができる。本文(引用文献を含む)4000字以内、図表合わせて2枚以内とする。

### 7. 症例報告:

専門医を含め実地臨床医に有益な症例に関する報告を本欄に投稿することができる。原則として本文(引用文献を含む)と図表を合わせて6000字以内とし、図表は1枚400字として換算する。

### 8. Letters to the Editor:

最近の本誌に掲載された論文に関連する意見、あるいは脊椎関節炎に関連する主題についての意見を本欄に投稿することができる。本文(引用文献3個を含む)と図表を合わせて1200字以内とし、図表は1枚400字として換算する。採否は編集委員長の判断による。

### 9. 綜説:

綜説(レビュー, 特集など)は原則として編集委員会が企画し依頼するが, 投稿も受け付ける。

#### 10. 集会:

集会記録は, 世話人或いは座長によるまとめ(討論内容を含めた)を集会原稿として受付ける。

#### 11. 補冊:

定期号のほかに補冊を発行できる。規程は別に定める。

#### 12. 論文の構成

(a) 原著論文は, (1) タイトルページ, (2) キーワードと略語一覧, (3) 和文抄録, (4) 緒言, (5) 研究対象, 方法, (6) 結果, (7) 考察, (8) 謝辞, (9) 引用文献, (10) 図の説明文, (11) 英文抄録を, (1)から(11)の順序で構成し, それぞれ改頁して記載する。ページを記入する。

(b) 速報の構成は原則として原著論文に準ずる。症例報告は(5), (6)を症例呈示として記載する。綜説(ミニレビュー, 特集等)の構成は別に定める。

#### 13. 原稿の作成

原稿の作成にあたっては次の諸点に留意されたい。

原稿は, 和文とする(下記の規程による英文抄録を必要とする)。原稿は論文テンプレートをダウンロードし、テンプレートに記載している要項に従って記入する。入力後は電子ファイル(論文テンプレート)をホームページにアップする。

##### (a) タイトルページ(1 ページ目)

論文の種類(「原著」, 「症例報告」など), 表題(略語を用いないこと), 著者名(ふりがなつき), 所属機関名, 簡潔表題(brief title for a running head, 25 字以内), 代表者の連絡先(住所, 電話, FAX, E-mail address)を原稿 1 枚目に明記すること。

なお共著者は実際の共同研究者に限り, 過多とならぬよう注意すること。

##### (b) 2 ページ目

論文中の key words(英語で 5 語以内), および原稿中の略語(全綴り明記)を ABC 順に配列し, 原稿第 2 枚目に一括記載すること。

##### (c) 抄録(3 ページ目)

原著, 速報及び症例報告には簡明な和文抄録(450 字以内)と, それに対応する英文抄録(250 語以内)を必要とする。

抄録は 400 字程度とし, 構造化抄録(structured abstract)とし, 背景・目的(Background), 方法(Methods), 結果(Results), 結語(Conclusion)等に分けて記載する。但し, 症例報告は必ずしも structured abstract でなくてもよい。

(d) 記述は現代かなづかい, かな交り, 横書きとし, 簡明を期すること。

(e) 略語は b 項のほか, 文中初出のものは全綴りの後( )内に記し, 原則として新しい略語を用いないこと。ただし, 止むを得ない場合は国際刊行物を参照し, 適切な略語を選ばれたい。

(f) 外来語および外国人名で慣用訳のないものは原字そのままを用いること。動物, 植物, 細菌などの学名はアンダーラインを付し(印刷の場合イタリック体とするため), 2 命名法によって属名の最初の 1 字のみは大文字にすること。文中の外来語は固有名詞(人名, 商品名など)を

除き、原則として小文字を使用すること。

(g) 薬品名は一般名で記載する(商品名を記載する必要がある場合には初出時に一般名に続け<sup>®</sup>と記載する)。

(h) 度量衡の単位には m, cm, mm,  $\mu$ , nm, pm:l, ml,  $\mu$ l : kg, g, mg,  $\mu$ g, ng, pg: $\times$ g などを用い、各符号の後に省略記号(•)をつけないこと。

(i) 数を表すにはすべて算用数字を用いるが、成語はそのまま用いること。(例:一般, 同一, 1回, 1度)

(j) 引用した文献は、本文中においては順次に番号をつけ、本文の終りに番号の順序に従って列挙し、各文献ごとに著者名、標題、雑誌名、年(西暦);巻:頁一頁を明記すること。ただし巻数の記載を欠く雑誌を引用する場合は、巻の代わりに通し号数、または発行年月日を記入する(例, 日本医事新報)。

[例]

1) 辻本正記, 七川歆次, 白倉良太:強直性脊椎炎と HLA-B27. 整形外科 1975;26:104-108.

2) Yamaguchi A, Tsuchiya N, Mitsui H, Shiota M, Ogawa A, Tokunaga K, Yoshinoya S, Juji T, Ito K. Association of HLA-B39 with HLA-B27-negative ankylosing spondylitis and pauciarticular juvenile rheumatoid arthritis in Japanese patients. Evidence for a role of the peptide-anchoring B pocket. *Arthritis Rheum.* 1995; 38:1672-7.

3) Fitzgerald O. Psoriatic arthritis. In: Firestein GS, Budd RC, Gabriel SE, McInnes IB, O'Dell JR, editor. *Kelly's textbook of rheumatology*, 9th edition. Philadelphia: Elsevier Saunders; 2013. p.1232-50.

注意:

1) 共著者名は全員列挙すること。ただし共著者の多い場合には、筆頭者を除き編集部において省略することがある。

2) 欧文誌名は *Index Medicus* 採用の略称を使用し、アンダーラインをつけること(印刷の場合イタリック体にするため)。

3) 掲載未決定のものは文献として採用しない。ただし、掲載決定のものは掲載誌名とともに、できるかぎり巻、(号)、年などを記載すること。

4) 学会発表のみのものを文献として引用する場合は、学会誌に抄録として掲載されたものを採用する。

(k) 表図の題名及び説明は英文で記す。表の題名はその上部に記し、それらの説明はすべて下部に簡明に記載すること。なおそれらの番号は Table 1, Fig.2(写真を含む)のごとく記載されたい。

(l) 既発表の図(写真を含む)、表、その他を引用、転載される場合には、あらかじめ著作権所有者の許可を得ること。

#### 14. 原稿作成の留意点

(a) 原稿作成に当たっては、医学雑誌編集者国際委員会 (International Committee of Medical Journal Editors: ICMJE) の「生物医学雑誌への統一投稿規程」に原則として準拠する。

(b) プライバシー保護に関しては、「症例報告を含む医学論文及び学会研究会発表における患者プライバシー保護に関する指針」(外科関連学会協議会:2004年4月6日, 2009年12月2日一部改正)を遵守すること。

(c) ヒトを用いた実験及びヒトゲノム・遺伝子解析に関する研究については、ヘルシンキ宣言を遵守し、当該施設の倫理委員会の承認を得て行い、その旨を方法の項に記すこと。

(d) 動物実験については、日本学術会議の動物実験の適正な実施に向けたガイドライン(2006年6月1日)に従って行い、その旨を方法の項に記すこと。

## 15. 電子メディアでの提出

原稿(本文と図表)を保存したメディア(CD, USB メモリー等)を提出するものとする。

受付可能な形式:Windows 又は Macintosh で作成されたファイル。

本文(表を含む)はマイクロソフトワード®ファイル, 図・写真はマイクロソフトパワーポイント®ファイル, 或いは.tif または.eps ファイルで提出する。

メディアの表面に著者名, 使用 OS, ワードのバージョン, 図・写真のソフト名, バージョンを明記する。

採用決定後, 提出された図・写真の解像度によっては印刷用の高解像度のファイル(300dpi 以上)の提出を求められることがある。

## 16. 利益相反に関する開示書の提出

投稿論文の研究について, 他者との利害関係の有無を記載した利益相反 (conflict of interest) に関する開示書(別紙規定書式)を提出する。本書類は論文の採否には影響しないが, 論文が本会誌に掲載される際に明記される。

## 17. 原稿の送付

電子メディア 1 部と原稿コピー 1 部を送付記録が残る方法で送付されたい。

送付先: 日本脊椎関節炎学会事務局 宛

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 2-2 大阪大学大学院医学系研究科 器官制御外科(整形外科)学教室内

TEL:06-6210-8444, FAX:06-6210-8447, E-mail:[info@spondyloarthritis.jp](mailto:info@spondyloarthritis.jp)

## 18. 校正

印刷の校正については, 初校は著者において行うが, 文章の削除, 挿入などは許されない。再校は原則として編集部がこれを行うこととする。

## 21. 著作権

掲載論文の著作権は本学会に帰属する。